

障害者用駐車場でも幅が狭いと・・・



グレーチングのすき間を狭めないで・・・



私の背広にはいつも
イエローリボンです



国保・介護・後期高齢者の 保険料値上げは いのちを脅かします

甲府市の国保資格証で亡くなった人数と受診歴

2013 年度	2 人	過去 1 年間受診歴なし
2014 年度	0 人	
2015 年度	5 人	過去 1 年間受診歴なし
2016 年度	2 人	過去 1 年間受診歴なし
2017 年度	2 人	過去 1 年間受診歴なし

※国民健康保険課調べ

●医療・介護の負担増は、市民に受診や医療抑制を経済的に強いることとなります。それはいのちを脅かします。表は、国保保険料の滞納によって保険証が無く亡くなった方々の一年間の受診歴です。ほとんど医療を受診しないままに亡くなっているのです。つまり様々な負担増とは、いのちと生活を脅かすことになるのです。

いのちと生活を守るのが「社会保障」で、自治体の任務です



●自治体の基本は「住民福祉の増進」〔地方自治法〕です。様々な社会保障の向上を求めることは自治体議の使命でもあります。例えば障害福祉では、障がい者用駐車場の整備と確保、公共施設のバリアフリーや雇用率の向上、医療窓口無料化を求めてきました。

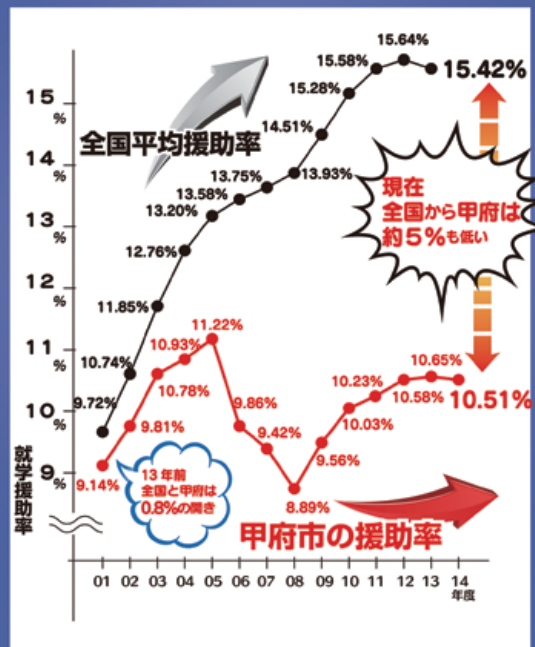
●胸にはいつもイエローリボン（日本障害フォーラム提唱）をつけています。山梨県身体障害者福祉会では議員懇談会の会長もさせていただいています。毎年の市政報告会等には必ず手話通訳・要約筆記をお願いしています。まず自分から率先して行政・社会にも広げたいと思うからです。

●国保、介護、後期高齢者の保険料が、大幅に上がろうとしています。国の悪い政策上の問題ですが、自治体段階でできる限りのストップと負担の軽減に全力を挙げていきます。

調査して下さい！全国と甲府市の援助率に大きな開きが！

就学援助対象の子どもを取りこぼしていませんか？

— 小中学校要保護と準要保護の就学援助率の推移 —



文部科学省及び甲府市教育庁学事課資料より作成 2015年12月

毎月の家計のやりくりが大変で不便！

年3回の児童の手当の振込みを毎月振込みにしてください！

まず、児童扶養手当の年3回まとめ振込みを毎月に



今後は児童手当の年3回まとめ振込みも毎月に



2017年12月に作成

山田厚

2019政策提言

**自助自立より
社会保障の充実を**

社会保障・教育の公的責任を今こそ求めて、くらしの安心・安全の街を

まだまだ不十分です！子育て援助をしっかり！

●教育と子育ても大切な自治体の任務です。例えば甲府市の就学援助〔家計の教育費が困難なご家庭に対して「義務教育は無償化」による給食費などの公的援助〕その割合が、現在でもなぜか低いままです。その周知などの改善も求めています。

●児童扶養手当や児童手当は、いままで年3回の振込みでした。これでは毎月の家計のやりくりは大変。国の指導からも新々年度からは隔月振込みが適用されます。そこで、私は市のシステムを改善して毎月振込みにすることを求めています。

甲府市北口 3-7-13

TEL(055)253-6790 FAX(055)254-4403
yamada@peace.email.ne.jp

政策はホームページの検索で
「山田 厚」と検索してください

山田 厚

検索

